



# 大磯小学校 学校だより

令和7年1月31日

【学校目標】 おだやかに 自ら学び 共に育つ

校長 成田 麻紀



年が明けて、1ヶ月が過ぎようとしています。学校生活の中で、3学期は期間も短く、飛ぶように過ぎていく時期ではありますが、もう終わりなのかと驚きます。

子どもたちは、寒さに負けず、元気に学校生活を送っています。登校の様子を見ていて、半袖シャツを着ている子どもを見かけると、その元気さに舌を巻く思いです。



1月のスタートは、まずは書初め大会です。4年生までは教室で書きましたが、5、6年生は体育館で、学年全員で取り組みました。写真は6年生の様子ですが、なかなかの壮観です。

年の始めに、新たな心持ちで書に向かう姿は、いかにも日本らしい雰囲気です。書に込めた思いが実現されていく一年であることを願います。



次は4年生の学年レク、「ドッジビー」です。ドッジボールのボールの代わりに、frisbeeを投げで行います。そんな遊びがあるのか…と感心すると共に、子どもたちが元気に遊ぶ姿には、なんだか安心します。まだまだ寒い日が続きますし、インフルエンザ等の感染症にも油断ができません。手洗い・うがいを励み、健康な日々を送ってほしいです。



12日(日)には、左義長を観に行きました。職員も複数名来ており、団子を焼くのを楽しんでいる姿もありました。海岸にたくさんのサイトが並び、燃え盛る景色は圧巻でした。6年生が11月に行った「ヤナゴッコ」などは見られませんでした。火を囲んで伊勢音頭を歌われているところは目にしました。煙が上がっていくのも迫力があり、思わず写真を撮ったのは、巳年にふさわしく、蛇のように見えたからです。ご利益があるといふ…などと思ひながら眺めておりました。国の指定重要無形民俗文化財であるこの行事が、この先

も引き継がれていくことを祈ります。

2学期終業式の日、ポスターコンクールの表彰を行いました。その中で驚いたのは、4年生の伊達さんが応募した「住友生命 第47回全国子ども絵画コンクール」で、日本教育美術連盟理事長賞を受賞し、3月には、なんとルーブル美術館で展示されるとのこと。心底驚きました。

こんなふうに、子どもたちの様々な才能に触れられるのは、喜ばしいことです。2025年、たくさんの才能が開花していくことを楽しみにしています。

